

コロナ禍での 居場所づくりを考える (2/13)

東京ボランティア・市民活動センター主催「ボランティアフォーラム」にて、トラまちも実行委員として分科会「コロナ禍での居場所づくりの現在地～高齢者の交流の場を対象に～」を企画しました。

その中で、東京都健康長寿医療センター研究所の藤原佳典さんに、研究者からみた健康・福祉の居場所づくりについてお話しいただきました。

「世代内交流よりも世代間交流のほうがいい」がこころの健康に良い」とする研究結果

を基に、今なぜ交流が必要なのかを解説。また、高齢者による「読み聞かせボランティア」を事例に、その活動が心理的・身体的・認知機能にどう影響したかを紹介しました。そして受け手の子どもにも高齢者へのイメージに変化があったなど、双方に効果があることをお話しいただきました。

感染症の流行を経験した今、あらためて交流の場について考えるととてもいい機会となりました。

各いえからの寄稿

あばら屋 春夏 ティースプーン一杯の気分転換

ご家族を介護なさっている方のために

Zoomでオンラインの集いを始めました「あばら屋春夏」の安田宏子です。コロナ禍にあって、長年の自宅開催から、Zoomのオンライン集会だったらどうだ！という気になったのは昨年の夏頃でした。

それからが大変でした！インターネットの苦手な私が家の者からタブレットやスマホを借りて、自分のスマホを使って、家族に協力してもらい主催者役、参加者役を練習して、チラシを作り、昨年の12月からオンライン集会をスタートさせました。

一からの出直しとと思っていましたが、いざやってみると、以前から「あばら屋」に足を運んで下さった皆さんが、初回からスナナリZoomに入ってきて下さり、ビックリです！た



ただ頭が下がりました。それに引き換え、「私のこの数か月間のZoom騒ぎは何だったんだろうー！」と。

Zoom主催者と参加者のためのマニュアルを作りました。ご参考になれば幸いです。トラストまちづくりまでお問い合わせください。

所在地	世田谷区新町 2-34-13 (現在はオンライン開催)
連絡先	03-3420-2649
活動日	毎月第2火曜日 10時30分～12時 Zoomを使用しています。 参加方法は「あばら屋春夏」か トラストまちづくりまでお問い合わせください。

DATA

地域共生のいえ かわら版 第16号

発行 令和3年3月



イラスト：飄齋（小塚秀忠）

さくらJoin

きっかけは義母の介護。人を恋しがるようになり。
それならと、ご近所の方に足を運んでいただける「茶話会」を始め。
親子の時間「もぐもぐテーブル」も。
桜の地域でゆっくり、じっくり、居場所を育んでいます。

発行：一般財団法人 世田谷トラストまちづくり
〒156-0043 世田谷区松原 6-3-5
TEL 03-6379-1621
<https://www.setagayatm.or.jp>



「地域共生のいえ」とは、オーナー自らの意思により
家・建物を地域の公益的かつ営利を目的としない
まちづくり活動の場として地域に役立てる取り組みです。



1 さくらJoin

桜の地域で ほっと一息

オーナー
玉真さん



きっかけは義母の介護

東急世田谷線の宮の坂駅から住宅街を歩く。鮮やかな黄色の夏ミカンがたわわに実っているお宅を横目に進むと、もう玉真恵子さんの自宅「さくらJoin」に到着だ。門のところには可愛らしい手作り看板が下がっている。玉真さんは長年幼稚園教諭として働き、3人の息子を育てた。お姑さんである礼子さんはそんな玉真さんの子育てを全面的にバックアップしてくれた。幼稚園の送り迎えなど、子育ての時間の慌ただしさを陰に日向に支えてくれた。

「おかーさーん、起きましょうかー？」声をかけてベッドから起こす。2015年に病に倒れ、介護が必要になったおかあさんこと礼子さん。慣れた動作で上体を起こし、車椅子に移動させる。手早い、そして丁寧だ。この一連の動作で玉真さんとおかあさんの濃密な時間と信頼関係が見て取れる。



茶話会 (2018年の様子)

家にも交流ができるように

おかあさんが、床につくようになってから人を恋しがるようになったと感じた玉真さん。おかあさんのために、そして自分だけで介護の時間を抱えこまないためにもと、2017年3月から近隣の人に声をかけ、みんなでお茶を飲みながらおしゃべりする「茶話会」を始めた。玉真さんは、仕事をずっとしてきたこともあって地域のネットワークが薄かったが、茶話会を始めるとご近所さんがおかあさんのことを気にかけてくださっているのがわかり、町会のお役などを引き受けていたおかあさんのつながりを改めて気づかされたという。

ある日、町会の回覧板で地域共生のいえの制度を知る。トラストまちづくりに問い合わせてみたところ、話が進み、ここで何ができるかプランを立てる構想支援を2018年7月から受けた。周回リサーチや玉真さんが幼稚園教諭だったということもあり、現在の茶話会に加えて、他の日に親子の時間の日を設けることに。そこで「親子がどんなことをしたいか」を調べるためのおためし会を行うことになり、2018年11月からご飯を食べたり遊んだりする「もぐもぐテーブル」を始めることになった。

この活動を聞いて、門の看板を手作りしてくれたり、おもちゃを寄贈してくれるご近所さん、掘りごたつを子どもたちが遊んでも壊れないように養生してくれる大工さん。玉真さんの一声で皆快く協力してくれた。「もぐもぐテーブル」の時間は掘りごたつが大活躍。新聞紙を破いた



もぐもぐテーブル (2019年の様子)

り、丸めたり。訪れた親子がめいっぱい遊べる場所になった。

2020年5月に「地域共生のいえ」として正式に登録。コロナ禍で活動を休んだ期間もあったが、感染対策をして、こじんまりと続けている。

歌が好きなおかあさん

「こんにちはー」茶話会のお仲間の原玉子さんだ。先ほど眺めた夏ミカンのなっていた家がお自宅とのこと。ご近所さんがこの時間を楽しみにしてくれている。「じゃあ、歌でも歌いましょうか」もちろん感染対策は万全に、おかあさんも嬉しそうだ。童謡「たき火」を皆で歌う。「かきねのかきねの」と歌いだすと、玉真さんが抜群のタイミングで「まがりかど」と先読みをしてくれる。これなら誰もが歌える。おかあさんも口を一生懸命に動かして歌っている。こんなご時世だからこそ、おかあさんの好きなことにピントがあった、かけがえのない時間だ。

今だからこそ前向きに

今、訪れている介護の時間は、煩雑なことに追われることもしばしばかもしれない。けれど、だからこそ先を明

るく。今を明るく。一人で抱え込まないためにも家をひらく選択をした玉真さん。ご近所さん、そして地域の多様な人達がほっとできる場所として少しずつ。けれど確実に。

玉真さんのおかあさんへの感謝の気持ちが形になっているようだ。



DATA

所在地 世田谷区桜一丁目
※東急世田谷線「宮の坂駅」より徒歩4分

連絡先 080-5539-8019 (玉真)

活動日 ◎茶話会
毎月第四木曜日 14時～15時30分 (無料)
高齢の方中心に。楽しくおしゃべりしませんか。
◎もぐもぐテーブル 不定期 (無料)
主に親子を対象。しんぶんプールで遊べます。
※詳細はお問い合わせ下さい。

▲ 今号で取り上げたいえ